

「ひらく」とは…私たち民主党会派の行動目標である、「開かれた」県議会の実現、そして、秋田の未来を「切り拓く」という想いを込めました。

▼6月・農林水産委員会にて



秋田県議会議員

お ば ら

小原まさてるごあいさつ

皆様のおかげで議員生活も2年目となりました。

今年度も私は、雇用を創ること、所得を増やすこと、生活の土台を支えること、そして次の世代に「希望」を繋げることを1番に訴えてきました。

私自身、小さな子を持つ親の一人として、介護が必要な祖母を持つ一人として、すべての家族が笑顔で暮らせる秋田を目指して県政に向き合っています。

皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

●屋台営業の緩和を!

屋台はB-1グランプリにも代表されるように、今やイベントや集客の目玉でもあります。

しかし、本県では営業期間が20日未満であることなど、他県と比べて厳しい許可基準となっています。今回の一般質問において基準緩和を提案した結果、その緩和が実現することとなりました。

○：県営衛生施設条例で「20日未満」と定めているイベントでの屋台の営業期間について、小原正晃氏（民主）が一般質問で延長を求めた。本県を開催地とする来年10月12日の大型光企画「フラスティネーション・キャンデー」(DC)を寛げられた提議。

県議会記者席

屋台営業延長で食PR
し、東北6県では本県の営業期間が最も短いことを指摘。佐竹敏久知事は「衛生面の監視指導を充実させるなど、来年4月の施行に向け改正したい」と前向きな発言をした。

●要介護者、認知症患者とその家族へのサポートを!

本県には、要介護認定者は約6万5千人おります。また、認知症やその予備軍の方々は約10万人程度いると推計されております。こうした方々に対する十分な介護の体制を整えることだけでなく、「介護をする側」のサポートをすることが重要だと考えています。

●秋田ふるさと村のリニューアルを!

秋田県の観光、文化の拠点である秋田ふるさと村もオープンから18年が経過し、老朽化が進んでいます。

県でも今観光に力を入れていることから、今一度ふるさと村の価値や存在意義を見直し、リニューアルが必要だと訴えています。

●シニアの仕事づくりを!

人口減少が進む本県では、地域社会や経済を維持していくために、高齢者の方々が生きがいを持ちながら、継続的に働き収入を得られる環境の整備が早急に必要です。

農業や食品加工、介護、子育てなどの分野で活躍していただける環境づくりを訴えています。

現在は農林水産委員、総合防災対策調査特別委員として、11月からは決算特別委員、あきた未来づくり交付金小委員のメンバーにも選任され、審議しています。

ホームページアドレス <http://www.obaramasateru.jp>

Facebookとtwitterでも最新情報発信中!

Facebook @小原 正晃

Twitter @obaramasateru



大館市選挙区
虻川 信一



秋田市選挙区
沼谷 純



横手市選挙区
小原 まさてる

「雇用対策」でわかる、知事の「腕前」。

地域の雇用は地域で創るもの。

雇用をどう生み出すか、その財源をどうするかは、県によって違います。お隣の山形県と秋田を比較してみると、雇用対策の厚さやスピード感、財源確保において、残念ながら山形県に後れをとっていると言わざるを得ません。

佐竹知事が「一丁目一番地」とした産業振興や雇用対策は、着手しただけで結果に結びついていないものが多く、今回、職員の給与カットをしなければ、財源のやりくりができなかったことも、財政的に失敗と言わざるを得ません。

「需要なくして雇用なし」。私たち民主党は、単なる雇用助成金などではなく、公共施設のLED化など、需要や消費を喚起する政策を強化することを訴えています。

	【雇用創出数】 (H21~23)	【有効求人倍率】 (H24.8現在)	【財源対策】
山形県	3.6万人	0.9倍	24年2月に 財政をやりくりして40億の基金を用意
秋田県	1.1万人	0.7倍 (全国平均 0.8倍)	今後、 職員の給与カットをして39億円を捻出

「クマ」への責任、どこまで？

「知事になって一番悩んだ問題」。佐竹知事言葉です。

悲惨な事故があった八幡平クマ牧場。クマも施設も未だ個人所有です。

県では、これまでもクマの飼育などを本人に代わって行い、既に多額の県費が投入されています。佐竹知事は、今後さらに数億円の県費を投入して、引き受け先の阿仁のクマ牧場を全面改修する方針で、その後の維持管理・飼育にも引き続き県費が投入されていく可能性もあります。

県税収入が下がり続ける中で、福祉・医療・雇用など県民の暮らしに直結する課題は山積しています。どこまで県がクマに責任を持つべきでしょうか。

このことに限らず、様々な面で佐竹知事の県政運営には「責任のあいまいさ」が目立ちます。

知事「ぶん殴るのが処分」

ミス見過ごし巡り発言

初歩的業務ミス続発

「本当にバットでぶん殴るのが処分だ」

あいまいな責任認識

秋田県「行革のせい」
職員削減▶班の仕事多岐に

県議は批判「人ごとのよう、情けない」

職員賠償の前例回避か

追跡

障害者共済掛け金損害で有志補填

年間10万円を超過する見込み、県の課長職をめぐって

入札工事での積算間違いなど、秋田県で本年度、業務ミスが相次いでいる。誤りいざしれども知事謝罪としないが、原因として挙げているのが「行政改革による職員数の減少」。行革の弊害に責任を認めないのが、批判の的となっている。

秋田県「行革のせい」
職員削減▶班の仕事多岐に
秋田県は、職員削減を進め、業務の多岐にわたる班制を導入している。しかし、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。

県議は批判「人ごとのよう、情けない」
秋田県は、職員削減を進め、業務の多岐にわたる班制を導入している。しかし、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。

職員賠償の前例回避か
秋田県は、職員削減を進め、業務の多岐にわたる班制を導入している。しかし、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。

追跡
秋田県は、職員削減を進め、業務の多岐にわたる班制を導入している。しかし、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。

障害者共済掛け金損害で有志補填
秋田県は、職員削減を進め、業務の多岐にわたる班制を導入している。しかし、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。県議は、業務の多岐にわたる班制は、業務の効率化を妨げ、業務のミスが増える可能性がある。